

第9回諜報研究会

戦前日本の秘密戦の解明—新しい共同研究・発表活動のスタート

共同主催： 明治大学平和教育登戸研究所資料館 / NPO 法人インテリジェンス研究所

プログラム

日時： 2014（平成26）年12月20日（土）13時00分開会（16時00分終了予定）

会場： 明治大学生田キャンパス 中央校舎4階 405教室

および明治大学平和教育登戸研究所資料館

内容（報告順・敬称略）：

（当初のご案内と、講演題目に若干の変更がございます旨、何とぞご了承願います）

【第1セッション】 講演 13:00~14:30

山田 朗（明治大学文学部教授、明治大学平和教育登戸研究所資料館館長）

「陸軍の秘密戦における登戸研究所の役割」

山本 武利（NPO 法人インテリジェンス研究所理事長）

「陸軍中野学校誕生期分析

—1937, 8年に叢生した日本人インテリジェンス工作人員養成機関」

【第2セッション】 見学会 14:40~16:00（数班に分かれてガイド・解説を実施します）

明治大学平和教育登戸研究所資料館内と

生田キャンパス内登戸研究所関連史跡の見学

報告者のご紹介（報告順、記載内容はご本人によるものです）：

山田 朗（やまだ あきら）氏

略歴：

東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程修了 博士（史学）

現在、明治大学文学部教授 平和教育登戸研究所資料館館長

主要業績：

『大元帥・昭和天皇』（新日本出版社、1994年）

『軍備拡張の近代史——日本軍の膨張と崩壊——』（吉川弘文館、1997年）

『昭和天皇の軍事思想と戦略』（校倉書房、2002年）

『護憲派のための軍事入門』（花伝社、2005年）

『戦争の日本史20 世界史の中の日露戦争』（吉川弘文館、2009年）

『これだけは知っておきたい日露戦争の真実—』（高文研、2010年）

『日本は過去とどう向き合ってきたか』（高文研、2013年）など。

山本 武利（やまもと たけとし）氏

略歴：

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了 博士（社会学）

現在、NPO 法人インテリジェンス研究所理事長 早稲田大学名誉教授 一橋大学名誉教授

主要業績：

『占領期メディア分析』法政大学出版局（1996年）

『ブラック・プロパガンダ』岩波書店（2002年）

『朝日新聞の中国侵略』文藝春秋社（2011年）

『GHQの検閲・諜報・宣伝工作』岩波書店（2013年） など多数

共同主催のご挨拶

「戦前日本の秘密戦の解明—新しい共同研究・発表活動のスタート」

明治大学平和教育登戸研究所資料館
NPO 法人インテリジェンス研究所

登戸研究所は1937年11月、「陸軍科学研究所登戸実験場」として開設された。敗戦とともに消えた研究所の建物ごと取得した明治大学は、その地に生田キャンパスを開設した。そして2010年3月に設立された明治大学平和教育登戸研究所資料館は、同館の目的を以下のように述べている。

「登戸研究所は戦前日本の戦争・軍隊を知る上で、きわめて貴重な戦争遺跡のひとつです。登戸研究所は、戦争には必ず付随する「秘密戦」（防諜・諜報・謀略・宣伝）という側面を担っていた研究所であり、そのため、その活動は、戦争の隠された裏面を示しているといえます。

登戸研究所の研究内容やそこで開発された兵器・資材などは、時には人道あるいは国際法規上、大きな問題を有するものも含まれています。しかし、私たちはこうした戦争の暗部ともいえる部分を直視し、戦争の本質や戦前の日本軍がおこなってきた諸活動の一端を、冷静に後世に語り継いでいく必要があると思っています。

それは、私たち大学と同じ科学研究にあたる場合、戦争という目的のためには、場合によっては尋常な理性と人間性を喪失してしまいかねない機能をもってしまふことを強く自戒するためでもあります。

私たちは、登戸研究所の研究施設であったこの建物を保存・活用して「明治大学平和教育登戸研究所資料館」を設立し、登戸研究所という機関のおこなったことがらを記録にとどめ、大学として歴史教育・平和教育・科学教育の発信地とするとともに、多年にわたり、登戸研究所を戦争遺跡として保存・活用することをめざして地道な活動を続けてきた、地域住民・教育者の方々との連携の場としていきたいと考えています」。

明治大学平和教育登戸研究所資料館は開設以来、研究所関係資料の収集、分析を進め、『陸軍登戸研究所<秘密戦>の世界』などの研究成果を世に問うている。さらに資料の展示室も年々整備され、一般に公開されている。記念講演会、説明会、企画展示会も定期的に開催している。現在、第5回企画展「本土決戦と秘密戦—その時登戸研究所は何をしていたか」が開かれている。

インテリジェンスには広義のインテリジェンス（知性、情報、メディア）とともに狭義のインテリジェンス（諜報、謀略、宣伝）がある。2001年に発足した早稲田大学20世紀メディア研究所では広義、狭義の幅広い研究を行い、80数回の研究会を開催し、その名も『Intelligence』なる研究誌を14号まで発行してきた。NPO法人インテリジェンス研究所は20世紀メディア研究所を外延的に拡大して2012年2月に発足した。定款で「歴史的史料の収集・公開および啓蒙・普及」を掲げている。インテリジェンス研究所では2012年に狭義のインテリジェンスに特化した諜報研究会を開設した。

NPO法人インテリジェンス研究所は、早稲田大学20世紀メディア研究所と協調した活動を展開している。占領期検閲メディア資料であるプランゲ文庫の新聞・雑誌データベース運営に関する事業などを行って活動資金の確保を図るとともに、占領期のみならず日本近代のインテリジェンス活動全般の正確な歴史的事実の確証作業を行い、広く一般市民および学術研究者に対して、その研究活動の成果を周知・啓蒙することを活動目的としている。2012年にインテリジェンス研究所のメンバーは陸軍中野学校創立期の公文書を一括発掘し、研究会などで発表した。2014年7月には陸軍中野学校跡地の一角に新設された早稲田大学中野キャンパスで「陸軍中野学校を知る」というテーマで研究会を開催した。

陸軍中野学校は登戸研究所設立から半年後の1938年4月に「防諜研究所」として呱呱の声をあげた。その設立母体は登戸研究所と同じ陸軍省、陸軍参謀本部であった。秘密戦のノウハウを軍人に習得させるために中野学校は生まれ、登戸研究所は中野学校の要請する秘密戦のツールを開発することを目的としていた。ところが今までの秘密戦研究は両者を有機的に捉えるところまでは至っていない。

明治大学平和教育登戸研究所資料館とNPO法人インテリジェンス研究所は設立理念や活動目的は基本的に同じである。そこで両機関ではこのたび相互に従来の蓄積を提供し合い、日本のインテリジェンス史や秘密戦の研究を推進することとなった。そして2014年12月20日に第1回の合同研究発表会を開くことに決めた。

みなさまのご理解、ご賛同をいただければ幸いです。

2014年12月1日

本日は冷え込む中、ご来場賜り、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

受付（事前&当日）にてご連絡先をご記入いただいた皆様には、定期的にインテリジェンス研究所に関する情報をお届けいたします。

明治大学平和教育登戸研究所資料館に関する情報・連絡先は、同封のパンフレット等および見学会配布のガイドブックをぜひご覧ください。

今後とも明治大学平和教育登戸研究所資料館、ならびに NPO 法人インテリジェンス研究所を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

インテリジェンス研究所ならびに「20 世紀メディア情報データベース」の会員登録(個人)についてご関心のある方は、ぜひ同研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.npointelligence.com/>

「20 世紀メディア情報データベース」は以下よりログイン可能です。

<http://20thdb.jp/>

占領期の検閲者名簿を検索できる「検閲研究ウェブサイト」

<http://www.waseda.jp/prj-Kennetsu/>

NPO 法人インテリジェンス研究所 早稲田事務局

169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学政治経済学術院 土屋礼子研究室気付

web サイト: <http://www.npointelligence.com/>

電子メール: npointelligence@gmail.com

本日は冷え込む中、ご来場賜り、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

受付（事前&当日）にてご連絡先をご記入いただいた皆様には、定期的にインテリジェンス研究所に関する情報をお届けいたします。

明治大学平和教育登戸研究所資料館に関する情報・連絡先は、同封のパンフレット等および見学会配布のガイドブックをぜひご覧ください。

今後とも明治大学平和教育登戸研究所資料館、ならびに NPO 法人インテリジェンス研究所を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

インテリジェンス研究所ならびに「20 世紀メディア情報データベース」の会員登録(個人)についてご関心のある方は、ぜひ同研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.npointelligence.com/>

「20 世紀メディア情報データベース」は以下よりログイン可能です。

<http://20thdb.jp/>

占領期の検閲者名簿を検索できる「検閲研究ウェブサイト」

<http://www.waseda.jp/prj-Kennetsu/>

NPO 法人インテリジェンス研究所 早稲田事務局

169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学政治経済学術院 土屋礼子研究室気付

web サイト: <http://www.npointelligence.com/>

電子メール: npointelligence@gmail.com